



図書館でRといえば、レファレンス・ブック(Reference book)のこと。日本語では参考図書と言われています。調べるための本、辞典・事典、年表や図鑑、目録などを指し、普通、これらは貸し出しができません。みなさんはこのレファレンスブックを使ったことがありますか？ここでは、参考図書の使い方、奥深さをお伝えしたいと思います。何か調べるときに、図書館にはこういう本があるのだということを知っていると便利です。

『日本史年表・地図』

児玉幸多／編 吉川弘文館 2018年 《R210.032/ニ》

歴史書といったら吉川弘文館に並ぶものはないといっても過言ではありません。しかも、この吉川弘文館は江戸時代の安政4年(1857)に創業した老舗の出版社なのです！ここで紹介するまでもなく、この年表は学生のみなさんにはおなじみの必携本ですが、この本を単なる副教材と置いてはもったいない！連綿と続く日本の歴史を縦軸で余すことなく記し、その時の元号、天皇名、将軍名がひと目で理解できる唯一無二の本です。方位・時刻、干支、官制の表、系図も掲載されており、あまりの便利さに大人になってから買い直したという図書館員が多いという噂もあるぐらいです。同出版社からでている『世界史年表・地図』とあわせて使えば、歴史の理解が一層深まること間違いなしです。



窓際閲覧席(26席)の

利用について

午前9時20分に利用希望者が20名を超えた場合、座席札を配布します。市内在住の方を優先いたしますので住所の確認ができるものをご持参ください。また、**混雑時に30分以上離席された場合、荷物をお預かりすることがあります。**

赤ちゃんタイム実施のお知らせ

毎月第2金曜日の10時から12時まで赤ちゃんタイムを実施しています。幼いお子さんを連れた方に気兼ねなく図書館を利用していただくという時間です。この時間帯には赤ちゃんの声が館内に響く場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

閉館時の返却について

緑町中央公園の向いにある児童館側駐輪場の壁沿いに返却口がありますので、閉館時はそちらにお入れください。
視聴覚資料や他の市町村から借り受けた本は直接カウンターまでご返却下さい。

●編集後記●

夏休み中、学生のみなさんが図書館に来て一生懸命勉強している後ろ姿を見るたびに、陰ながら応援しています。その一方で、勉強もいけれど息抜きに本も読んでほしいなという気持ちも抱きます。楽しい夏休みが終わるとすぐに試験や受験という現実が差し迫り、心が辛くなってしまふ人もいられるかもしれません。長い休みのあとに、悲しい命の選択をしてしまう学生が多いと言われています。図書館では、少しでもそういう方の助けとなればと思い、“自分を大切に”というテーマで本を展示しています。図書館がみなさんの気分転換の場となればとうれしいです。【図書館スタッフi】

《読むトコ》ティーンズ版 第8巻第2号

発行日：2019年8月15日

編集・発行：所沢市立所沢図書館
新所沢分館

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3

☎04-2929-1905

開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00

土日祝 9:30～17:00

休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日
(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

指定管理者 株式会社ヴィアックス

所沢市立所沢図書館新所沢分館 図書館だより

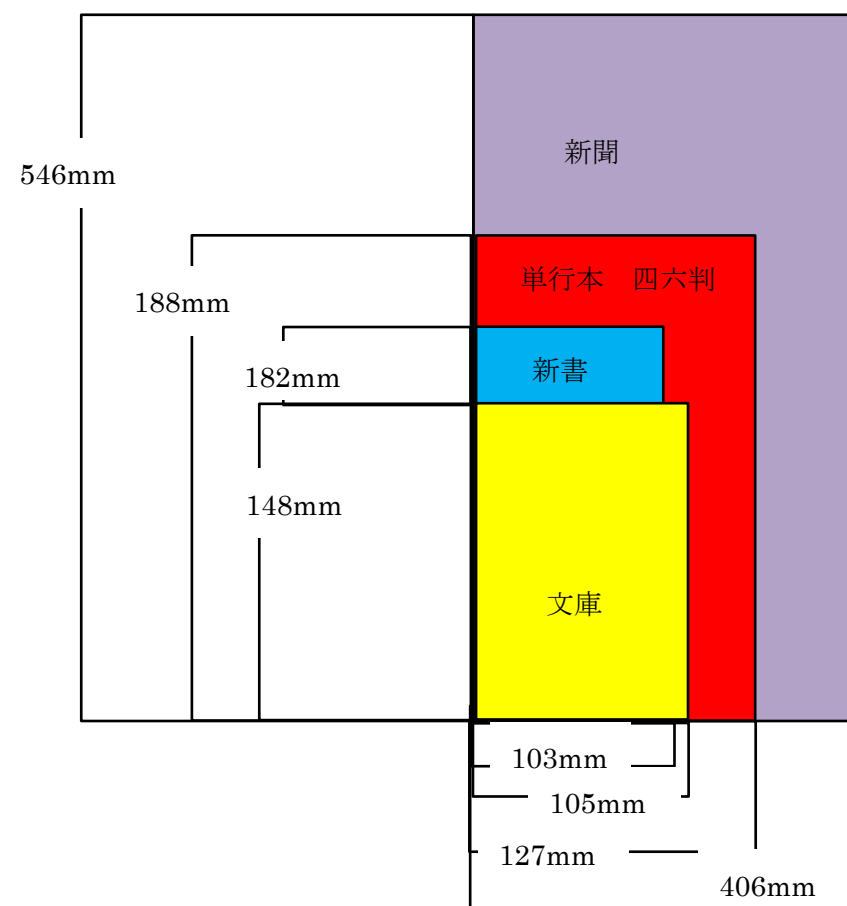
読むトコ 【ティーンズ版】

第8巻第2号(2019.8)



新書？文庫？単行本？ 意外に知らない 本の基本知識 part 1

図書館スタッフに、“文庫と単行本のどちらにしますか”、“これは新書です”、などと言われたことはありませんか？我々はみなさんの反応を見て「本の種類の違いについて意外に知らない方が多いのかな」とここ最近思うようになりました。それでも、学校の課題で“新書を読んでレポートを書いてきなさい”などと先生から指定されたことがある人が多いのではないのでしょうか。今号から、次の課題が出たときに少しでもスムーズに本が探せるように、図書館スタッフからの質問に戸惑わないように、本の基本知識についてまとめていきたいと思います！



視覚化すると
違いがわかりやすいですね。

単行本は、いくつかサイズの種類がありますが主にこの2種類です。
B6判 (横128mm×縦182mm)
四六判 (横127mm×縦188mm)

※出版社によって多少サイズは異なります。

新書って何？

専門分野の入門書！

サイズは、多くは103mm×182mmで、少し縦長のスリムな本です。
みなさんの中で小学生の頃によく読んだ人も多い講談社の青い鳥文庫はこのサイズです。
小説でも新書サイズで出ているものもありますが、基本的には実用書が多いです。
実用書とは、日常の知識や情報についてまとめたものだというとわかりやすいかもしれません。
最近の世の中の流行りや人々の関心事など手軽な教養書は、まず新書で出ることが多いです。
専門家がわかりやすく書いているので、専門書を読む前に新書を読むと概略がわかり、とても便利です。最近は大手の各出版社がいくつもの新書のレーベルを出しているため、本屋でもかなり広い売り場面積を占めています。「新しい本」＝「新書」と誤解する人が多いですが違いますよ！！

所沢図書館では、ティーンズ向けに筑摩書房のちくまプリマー新書、岩波書店の岩波ジュニア新書を取り揃えています。

特に岩波ジュニア新書は1979年に創刊され、幅広いジャンルが刊行されています。たとえば、日本テレビの柘太一アナウンサーが書いた『理系アナ柘太一の 生物部な毎日』や、中国文学者の中野美代子さんが書いた『なぜ孫悟空のあたまには輪っかがあるのか？』など、興味深いタイトルものがたくさん出ています。

ちくまプリマー新書は、筑摩書房が2005年に創刊したレーベルです。こちらを対象は若い人向けで原稿枚数も150枚というコンパクトさが売りです。天童荒太の『包帯クラブ』や万城目学『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』などの短編小説も刊行されています。



『なぜ孫悟空のあたまには輪っかがあるのか?』中野美代子／著 岩波書店 2013年



『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』万城目学／著 筑摩書房 2010年



新書のオススメはこちら！

タイトルからでは想像がつかない内容が多く、それも新書の楽しさのひとつです。

単行本って何？

“書籍”といえはこのサイズ！

サイズは、多くはB6判128mm×182mmもしくは四六判127mm×188mmで、一般的に書籍と聞いて想像するのはこのサイズかもしれません。

単独で刊行される本のことを単行本と呼びます。ちなみに、全集は叢書(そうしょ)と呼びます。

一般的に小説やエッセイなどの場合は、雑誌や新聞で連載されたものに加筆修正してまとめて刊行されることが多いですが、執筆後そのまま書籍化されるものを「書き下ろし」と言います。そして、単行本で刊行されてからしばらくして文庫として改めて出ることが多いです。その方が安いですし、持ち運びに便利なので読者には好まれる傾向にあります。

単行本には、表紙が固いハードカバーと、柔らかいソフトカバーがあります。たとえば、西尾維新の『化物語』に始まる「物語シリーズ」はソフトカバーの形態で刊行されています。

ただし、小説だけではありません。

文庫・新書・雑誌・ムック本・大型本・叢書・図鑑・辞典以外で上記のサイズだったら単行本だと言えます。



『鳥に単は似合わない』阿部智里／著 文藝春秋 2012年 “八咫鳥シリーズ1~6巻・外伝”



単行本のオススメはこちら！

なんと著者は1991年生まれ！最後の最後に、読む者の想像をいい意味で裏切る作品で、一気読み間違いなし。

ミステリーが大好き、あやかし系が大好きというティーンズにぴったりの作品です。

コミック化もされています。

次号も、本の豆知識をお伝えします！
お楽しみに！！

